

## くまがわ明日の川づくり報告会 アンケートのご意見に対する回答

平成 19 年 5 月 14 日（月）の球磨村神瀬地区を皮切りに、「くまがわ・明日の川づくり報告会」を実施しました。

同報告会は 5 3 箇所で開催し、延べ 1, 4 8 0 人の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

同報告会の中で十分にご発言できなかった方には、同報告会でお配りしたアンケートの自由記入欄にご意見等をご記入いただいたところです。アンケートにご記入いただいたご意見等並びにご意見等への回答のうち、〈ダム等〉に関するものについては下記のとおりです。（順不同）

### 〈ダム等〉

地区	アンケートにご記入いただいた主なご意見・ご質問	ご意見・ご質問への回答
上流地区	川辺川ダムの利水を 40 年間待ったが、ダムは多目的に利用することが一番だと今でも思う。	ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。
上流地区	川辺川がきれいなのはダムが無いからだと思える。	ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。
上流地区	ダム貯水池に堆積した土砂の浚渫が必要ではないか。	ダム湖における土砂の堆積が、洪水を安全に流すうえで支障があると判断される場合は、河川管理者がダムの管理者に対して対策を行うように指導しています。
上流地区	市房ダムの放流が水害の原因だと思っている住民はどれくらいいるのか。	昭和 40 年水害については、県のデータを見る限り市房ダムでは適正な操作が行われていたと考えています。しかしながら一方で、人吉市では急激な水位上昇が生じたことと多数の方からお聞きしているところです。これを受け、当時の状況をよくご存じの方々から、洪水時にどのような状況だったのか、さらに詳しくお聴きしているところです。
人吉周辺地区	利水問題のことを考えても、早くダムをつくってほしい。	ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。なお、川辺川ダム計画については、平成 19 年 1 月 30 日に九州農政局長から、国営川辺川土地改良事業における新利水計画は川辺川ダムに水源を依存することはないとの回答をいただいている状況です。
人吉周辺地区	早くダムによる治水を実現してほしい。ダム本来の目的は治水であり、河川管理の責任であると思う。県知事がダム実現に向けて前向きに取り組む必要がある。	ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。

人吉周辺地区	川辺川ダムは早くつくるべきである。離村された五木村の人達のことを考えてほしい。五木村が反対するときに応援せず、今になって反対者がいることに腹が立つ。	川辺川ダムについては、今後、河川整備計画を策定する際にその取り扱いについて検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。
人吉周辺地区	是非ダムをつくっていただき、いざというときに備えていただきたい。安全が一番、人命が一番だと思う。	ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。
人吉周辺地区	川辺川ダムは発電として利用しないようなことになっているが、川内川では発電分を洪水調節に利用する報道がある。このような考えはないのか。	川辺川ダム計画における発電計画については、平成19年6月15日に電源開発㈱から、川辺川ダム建設事業に参画継続していくことは困難であるとの回答をいただいているところです。 川辺川ダムの取り扱いについては、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますが、仮に、整備計画に川辺川ダムが位置づけられた場合には、電源開発㈱からの回答等も踏まえ、ダム計画の見直しを行うこととなります。
人吉周辺地区	災害はいつ来るか分からない。ダムであっても綺麗な水は流せるはず。人命を優先して安全な川にしてほしい。穴あきダムでも結構なので治水を進めてほしい。	ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。
人吉周辺地区	1. 清流を保つため、大洪水を起こさないため、上流域の森林をつくる必要がある。 2. ダム建設は絶対反対である。	1. について 基本高水のピーク流量等の治水計画は、森林の存在を前提としていることから、治水上、河川管理者としても森林の保全は重要であると認識しています。 国土交通省としては、例えば、河川事業において間伐材の利用を促進するなど、出来ることから取り組んでいきたいと考えています。 2. について ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。
人吉周辺地区	ダム以外で水害被害を起こさない方策を検討してもらいたい。	ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。
人吉周辺地区	川辺川ダム予定地は地質に危険性がある。小委員会でそのことについて議論すべきである。	小委員会は、長期的な河川整備の目標を定める河川整備基本方針の審議を行うために設置されたものであるため、川辺川ダムなど具体の施設計画についての審議は行われていません。 今後、河川整備計画を策定する際に、川辺川ダムの取り扱いを検討していくことと

		なりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。
人吉周辺地区	昭和40年水害を思うと、市房ダムがなかったなら、あのような水害にはならなかったと思う。	昭和40年水害については、県のデータを見る限り市房ダムでは適正な操作が行われていたと考えています。しかしながら一方で、人吉市では急激な水位上昇が生じたことと多数の方からお聞きしているところです。これを受け、当時の状況をよくご存じの方々から、洪水時にどのような状況だったのか、さらに詳しくお聞きしているところです。
人吉周辺地区	一日でも早くダムをつくって住民が安心して生活できるようにするのが国の役目である。	ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。
人吉周辺地区	ダムをつくり、利水や発電に役立て、森林も育成し環境の保全を図ったらどうか。	治水対策とともに、森林の保全に努めることは重要であると認識しています。ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。 なお、川辺川ダム計画については、九州農政局長から、国営川辺川土地改良事業における新利水計画の水源を川辺川ダムに依存しない旨回答をいただいております。発電についても電源開発㈱から、川辺川ダム建設事業に参画継続していくことは困難であるとの回答をいただいております。
人吉周辺地区	委員会などで、必ず批判はあると思う。批判を踏まえうえて、洪水調節の整備をしてほしいと思う。	今後とも、様々な方々からご意見をお聞きしながら、河川整備計画を策定する際に洪水調節の整備について検討していく考えです。
人吉周辺地区	川辺川上流に洪水調節施設を望む。全国でも珍しい立派な施設を整備してほしいと思う。高齢者が多い時代は、より安全なまちづくりが大切である。討論集会ほど馬鹿馬鹿しいものはなかった。全国に恥ずかしい集会であった。	ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。 なお、整備計画を策定する際には、住民の方々等からご意見をお伺いすることになりますが、地域に無用な混乱や対立を招くことがないよう、意見の聴取方法について慎重に検討していきたいと考えています。
人吉周辺地区	ダムは絶対反対である。きれいな球磨川があつての人吉市である。球磨川が壊れれば人吉の未来は暗くなる。	ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。
人吉周辺地区	洪水時のダムからの放水はやめるべきである。	洪水調節機能を有するダムは、ダムの上流から入ってくる量よりも少ない量をダムの下流に流すことにより、下流地域の水位を下げ、洪水被害の軽減を図るものですので、ご理解いただければと思います。 球磨川流域ではダムの放流について、疑問の声が多いことは承知しております。今

		後とも、熊本県等とも連携しつつ、ダム放流の情報について、住民の皆さんにしっかりお知らせしていく考えです。
中流地区	ダムの早期着手を願う。上流部の整備で洪水の到達時間が短くなっており洪水への対応が間に合わない。早く安全安心な生活ができることを望む。	ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。
中流地区	ダム反対の人たちは森林の整備でダムは必要ないと言われるが、ゲリラ的に降る雨には対応出来ないと思う。そこを考えると、是非ダムをつくってもらいたい。	ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。
中流地区	以前は球磨川沿いに遊水域があったが、今はそれが無くなった。球磨川沿いに遊水域を整備するかトンネルを掘り海に流す方法はないか。	ダム、遊水地、放水路などの具体の洪水調節施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。
中流地区	ダムに依らない治水が本当に可能なのか。洪水は本当に怖いと思う。基本高水も結構だが、中流・下流はそのままでは安住が難しい。どうやって洪水から住民を守っていくのか明確な展望を見せていただきたい。	具体の河川整備については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、その際に住民の方々にお示ししていきたいと考えています。
中流地区	川辺川ダムはつくるべきではない。瀬戸石ダムは撤去していただきたい。	川辺川ダムについては、今後、河川整備計画を策定する際にその取り扱いを検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。
中流地区	本当に川辺川ダムができれば水害は無くなるのか。絶対とは言えないものに国が関与すると後々裁判が起ころもめるので手を出さない方がよい。	川辺川ダムについては、今後、河川整備計画を策定する際にその取り扱い検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。
中流地区	川辺川ダム計画は、現在、白紙であることをなぜ住民に報告しないのか。白紙化の川辺川ダムで何故 3000m <sup>3</sup> /s も調節できる施設として掲げることができるのか。地球温暖化の異常気象で降雨・洪水が増えるだろう。アル・ゴア氏と会ったものとして、今できる治水対策、生命と財産を守る国交省の仕事をしてほしい。白紙化のダムより先決である。	川辺川ダムについては、今後、河川整備計画を策定する際にその取り扱いについて検討していくこととなります。
中流地区	ダムは100年もつものではなく、堆砂や老朽化でいつかは効果がなくなるものである。早い避難があれば人命は救えるものである。そういうことも踏まえてダムを考えてもらいたい。最後の手段である。	ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。なお、ご指摘の洪水時の早期避難警戒体制の整備も重要であると考えており、整備計画の中で併せて検討していく考えです。

中流地区	流れをせき止めること自体が自然破壊や環境汚染の原因をなしていると思う。瀬戸石ダム完成後は水質汚染、土砂へドロ堆積、両岸の道路損壊などの支障をきたしている。	ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。
中流地区	川辺川ダムの建設とそれに伴う多数の砂防ダムの建設によって、本来の川の機能が無くなり水質の悪化、漁獲量の減少、生態系の破壊が起こることを恐れている。洪水時の避難対策、補償などを充実させることが必要だと思う。	川辺川ダムについては、今後、河川整備計画を策定する際にその取り扱いについて検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。 なお、ご指摘の洪水時の早期の警戒避難体制の整備も重要であると考えており、整備計画の中で併せて検討していく考えです。
中流地区	ダムをつくったら、球磨川の水位が小川より高くなるのは間違いないので、渡地区では今まで以上に浸水すると思う。ダムの放水のときは必ず教えてほしい。	洪水調節機能を有するダムは、ダムの上流から入ってくる量よりも少ない量をダムの下流に流すことにより、下流地域の水位を下げ、洪水被害の軽減を図るものですので、ご理解いただければと思います。 球磨川流域ではダムの放流について、疑問の声が多いことは承知しております。今後とも、熊本県等とも連携しつつ、ダムの放流の情報について、住民の皆さんにしっかりお知らせしていく考えです。
中流地区	川辺川ダムが出来た場合、市房ダムと川辺川ダムは管理者が異なるが、放流するときには、両方のダムで調整するのかわからないのか知りたい。	川辺川ダムなどについては、今後、河川整備計画を策定する際にその取り扱いについて検討していくこととなりますので、いただいたご質問は、その際にご説明したいと考えています。
中流地区	ダムの放水も上手になられたことだと思うので、早くつくられてはどうか。	ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考にさせていただきます。
中流地区	ダムは必要ではない。水質や魚類に多大な悪影響を与えるだけで良い結果にはならない。	ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。
中流地区	荒瀬ダム撤去後に、さらに瀬戸石ダムを撤去すれば、河川の状態が変わるので、洪水により被害が起こることはないと思う。それでも川辺川ダムは必要なのか。	川辺川ダムについては、今後、河川整備計画を策定する際にその取り扱いについて検討していくこととなります。
中流地区	いまの球磨川になったのは、すべてダムによるものであり、今後ダムによる治水対策はやるべきではない。環境を重視すべきだと思う。	ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。

中流地区	熊本県企業局（荒瀬ダム管理者）はHWLを把握せずに、宅地等水防災事業の計画も無視して、実績洪水位+5cmで嵩上げ補償を行った為、補償内容の差別を行い、地域に混乱を招いた。熊本県にも正しい説明を要求する。	【熊本県回答】 地元との協議の結果によるものであり、ダムに関わる補償として適正なものであると考えております。
中流地区	瀬戸石ダム貯水池に堆積した土砂を発電企業者が撤去するには、国交省の許可がないので出来ないとのことであるが、水害防止のために是非やってほしい。	報告会后に報告会で同じようなご発言をいただいた方と一緒に現地を確認させていただきました。なお、国からダム管理者である電源開発に堆積土砂の撤去の要望があったことを伝えており、電源開発の方で対応を検討しているところと聞いています。
中流地区	荒瀬ダムが完成してから頻繁に増水している。	荒瀬ダムに堆積した土砂の影響により浸水した地区については、荒瀬ダムの管理者である熊本県が補償を行っているところと聞いています。 河川管理者である国としては、ダム湖に堆積した土砂が、洪水を安全に流すうえで支障があると判断される場合には、土砂の撤去等を行うようダム管理者を指導していく考えです。
中流地区	荒瀬ダムの放流量について放送されることで、下流の水嵩が予測できるが、ダムが撤去されれば下流はどうやって洪水の情報を知ることができるのか。	球磨川では数箇所河川の水位を観測しており、リアルタイムでインターネットや携帯電話（iモード等）により情報提供を行っています。これらの情報が住民の方々にわかりやすく、アクセスしやすいものとなるよう今後とも取り組んでいく考えです。
中流地区	ダムによって堆積した土砂を除去してほしい。	ダム湖における土砂の堆積が、洪水を安全に流すうえで支障があると判断される場合は、河川管理者がダムの管理者に対して対策を行うように指導しています。
八代地区	川辺川ダムに沢山のお金を使ってつくるのは税金の無駄づかいである。環境を壊してまでつくる必要はない。	川辺川ダムについては、今後、河川整備計画を策定する際にその取り扱いについて検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。
八代地区	本日の説明会ではダム建設の必要性は感じられない。	報告会は基本方針の内容等について、地域の方々にご報告するために開催したものです。 ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、その際に、住民の方々にご説明させていただく考えです。
八代地区	川辺川ダムを造るにせよ造らないにせよ、住民が納得するメリット・デメリットの情報を開示し、決めてほしい。	川辺川ダムについては、今後、河川整備計画を策定する際にその取り扱いについて検討していくこととなります。その際には、住民の方々にはしっかりとご説明していく考えです。

八代地区	<p>圧倒的多数がダムに依らない治水を望んでいると発言されたが、多数決で決めでいただきたい。宮地校区は球磨川が大きくカーブしており水流が強くあたる地域である。荒瀬ダム撤去後の治水に不安がある。川辺川ダムを推進してほしい。それが困難であれば、萩原堤防のスーパー堤防化をお願いしたい。大声を上げる反対派は危険地域に居住していない方だと思う。どうか、危険地域に居住しているものの安全確保をお願いしたい。反対派の声が大きく、怖くて言いたいことが言えない。</p>	<p>八代市の萩原地区はご指摘のような地形のため、洪水時に水当たりが強く、現在、堤防の脚元が深掘れしている箇所があることから、大きな石や砂利などを埋める工事を実施していますが、それに続き、必要とされている堤防の厚みが足りない箇所について堤防断面を厚くする工事を行う必要があると考えています。このように萩原地区の堤防強化を今後とも鋭意進めていきます。</p> <p>なお、川辺川ダムについては、今後、河川整備計画を策定する際にその取り扱いについて検討していくこととなります。</p>
八代地区	<p>ダムは八代地点においては洪水調節効果がないことがはっきりした。</p>	<p>ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますが、仮にダムを位置づけようとする場合は、ダムの効果についてもしっかりと説明していく考えです。</p>
八代地区	<p>上流のダムが無くなれば、下流の水位はどれくらい上がるのか。雨量によっては堤防を越える恐れがないか心配である。</p>	<p>洪水調節機能を有するダムは、ダムの上流から入ってくる量よりも少ない量をダムの下流に流すことにより、下流地域の水位を下げ、洪水被害の軽減を図るものです。いただいたご意見を踏まえ、今後、河川整備計画を策定するにあたっては、洪水調節施設による下流の水位低減効果についても、できるだけ分かりやすく説明してまいります。</p> <p>なお、荒瀬ダム、瀬戸石ダムについては洪水調節の機能がないため、ダムが無い場合でも下流の水位は変わりません。</p>
八代地区	<p>瀬戸石ダム貯水池の上流端の川底を掘ったらどうかと思う。</p>	<p>河川内の堆積土砂については、洪水を安全に流下させるうえで支障があると判断される場合には、土砂の撤去について検討の必要があると考えています。なお、ダムの設置に伴い土砂が堆積したと判断される区間については、ダムの管理者（瀬戸石ダムの管理者は電源開発）が対応することになります。</p>
八代地区	<p>荒瀬ダムだけでなく、瀬戸石ダムも撤去して、堤防や護岸を整備することで、自然な安全な川にしてほしい。</p>	<p>自然環境をできる限り保全しつつ、一方で治水安全度についても高めていくという治水と環境等の兼ね合いを考慮しながら、河川整備を実施していきたいと考えています。</p>
山鹿・熊本・八代	<p>川辺川ダムの目的が治水だけになったいま、治水のためには何がベストの対策かを考えてほしい。</p>	<p>川辺川ダムについては、今後、河川整備計画を作成する際にその取り扱いについて検討していくこととなります。いただいたご意見も踏まえ、球磨川の治水対策について検討していきたいと考えています。</p>

山鹿・熊本 ・八代	いまの自然のままです治水・利水ができれば一番だと思いが、どうしてもダムなどの建設が必要なときは、地域住民の意見を十分吸い上げて、よりよいものにしてほしい。	ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますが、その際には、ご指摘のとおり、住民の方々の意見もしっかりとお聴きしていきたいと考えています。
山鹿・熊本 ・八代	いつ起こってもおかしくない大水害に対して、住民の生命・財産を守るため、国は責任を持って対処すべきである。球磨川においては、川辺川ダムをはじめとする治水対策を早急かつ着実に進めていただきたい。	川辺川ダムについては、今後、河川整備計画を策定する際にその取り扱いについて検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。
山鹿・熊本 ・八代	環境への配慮が大切であることは論を待たないが、そのためにダムなど合理的な治水対策を排除することは人命軽視であり到底認められない。	ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。
山鹿・熊本 ・八代	洪水調節施設としてのダムは必要である。あわせて温暖化の影響など将来を見据えて、渇水対策のための貯水機能を持つダムが必要である。	ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。
山鹿・熊本 ・八代	流域の住民がダムはいらないと言っているのだから川辺川ダムはつくらないでほしい。	川辺川ダムについては、今後、河川整備計画を策定する際にその取り扱いについて検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。
山鹿・熊本 ・八代	川辺川ダムの必要性について疑問がある。国の意地のために、やめるにやめられないダムと聞いたことがある。自然のことは誰にも分からないこと。災害は悲しいこと。ただ、どんなに防止しても起きるものは起きるので必要ないものはいらないかもしれない。でも、建設業者の生活が潤うことは地域の活性化につながらると思うので、みんなが納得できる両立できる中間の方策がないか考えてほしい。	川辺川ダムについては、今後、河川整備計画を策定する際にその取り扱いについて検討していくこととなりますが、いただいたご意見も踏まえ、仮にダムを位置づけようとする場合は、その必要性について、住民の方々にしっかり説明をしていく考えです。
山鹿・熊本 ・八代	これほど時間をかけても納得できない工事は中止すべき。熊本県民は無駄極まりないダムを望んでいない。もっと、福祉・教育にお金を使ってほしい。地元の声聞いてほしい。出世に利用しないでほしい。	ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。

※ アンケートにご記入いただいたご意見等をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせていただいています。

※ 誹謗中傷するようなご意見等については掲載しておりません。